

第32回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー (SADI)

2025年奥豊後竹田岡城の里大会プログラム



ご挨拶

大分の山間部で SADI を開催いたします。マダニも多く、またツツガムシにも恵まれた？地での開催となります。九州各県はもとより全国の研究者、医療従事者の皆様によるマダニのみならず、様々な虫たちに関する明日に繋がる御発表に期待いたします。また竹田の地を来訪されることはそう無いと思われますので、9 万年前の阿蘇の大噴火で生じたジオパーク原尻の滝などを巡るダニ採集ツアーも企画しています。

ホスト 安西三郎（安西皮膚科）・小河正雄（元別府大学）

支援：SADI 組織委員会



- 会 場** 竹田市総合社会福祉センター多目的ホール（竹田市会々1650）竹田市役所横
0974-63-3360 駐車場は会場周辺の駐車場をご利用ください。
- 会 期** 2025 年 6 月 13 日～6 月 15 日
- 参加費** 参加費 2000 円、疫学バスツアー1500 円（含岡城入場料）、情報交換会費 4500 円
- 参加申込み** 演題追加登録を希望される方、なるべく対応いたしますので下記へご連絡下さい。参加のみの方は当日でも可能です。sam.masao.ogawa@nifty.com
- 発表方法** 各自発表セッションの前に、演台上のパソコンに各自の USB メモリーから演題データを移し、発表して下さい。データは世話人が責任を持って消去いたします。発表は 8 分、討論 4 分といたします。
- 座 長** 発表を終えられた方は次演題の座長をお願い致します。
当日の開始時などは世話人が座長対応いたします。
- 演題抄録** 大会終了後なるべく早い時期に 1000 字程度の（図表は 1 枚程度可）抄録を提出して下さい。SADI ニュースにて配信いたします。
提出先 sam.masao.ogawa@nifty.com
- 情報交換会** 竹田駅近く、温泉花木水裏の『お宿割烹 一竹』にて 18 時から。会場から徒歩 15 分程度。車の方は安西皮膚科の駐車場などをスタッフがご案内いたします。

日 程

6 月 13 日 金曜日

- 14:00 受付開始
- 15:00 SADI 演題発表開始
- 17:10 終了

6 月 14 日 土曜日

- 9:00 岡城の見どころ講演
- 9:35 バスツアー原尻の滝、岡城、普光寺を巡り普光寺周辺でダニ採集。梅雨のため雨天、暑さも予想されます。傘等の雨具、飲み物各自でご用意ください。雨がひどい場合、ダニ採集はできないかもしれません。尚ダニ採集は会場近くの裏山でも可能です。
- 14:00 SADI 開始
- 17:00 終了 情報交換会会場移動

6 月 15 日 日曜日

- 9:00 SADI 開始
- 11:30 頃 終了

プログラム

6 月 13 日 15:00～17:10

土居昌弘竹田市長挨拶

15:05～15:17 歓迎講演 1

- 1) 大分市及び杵築市・日出町におけるマダニ類の病原体保有状況

小河正雄（元別府大学、元大分県衛生環境研究センター）

15:17～16:05 日本紅斑熱 コメンテーター 馬原文彦（馬原医院）

- 2) 熊本県天草地方における日本紅斑熱患者発生数の変動

和田正文（上天草市立 上天草総合病院）

- 3) 感染地と発症地が大きく隔たっていた日本紅斑熱の 2 例

夏秋 優（近畿中央病院・兵庫医大 皮膚科）

- 4) 三重県保健環境研究所で実施された日本紅斑熱診断における遺伝子検査（PCR 法）の陽性率 2023-2024 年の伊勢赤十字病院と町立南伊勢病院の確定例における検討

坂部茂俊（伊勢赤十字病院 循環器内科）

- 5) 急性期に皮疹を認めなかった日本紅斑熱の一例

津田修志（大分県立病院 皮膚科）

16:15～16:27 須藤恒久先生追悼 1

- 6) 須藤恒久先生のこと

川上万里（岡山済生会総合病院）

16:30～17:10 マダニ類媒介病原体等

- 7) 古典型回帰熱病原体のヒト血清耐性能について

佐藤 梢（国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所）

- 8) 日本産マダニにおける *Rickettsiella* 共生細菌の保有状況調査と分離菌株のマダニへの移植試験

金子ちひろ（北海道大学・獣医学部・寄生虫学教室）

- 9) ツツガムシの共生細菌について 第 3 報：（NA 付 PPT による発表）

リケッチアがつなげるマダニとツツガムシ

小川基彦（国立感染症研究所 細菌第一部）

6 月 14 日 9:00～17:00

9:00～9:25 講演：岡城の見どころ 岡の里事業実行委員会 衛藤頼光様

疫学ツアー9:35 会場前出発、10:00 原尻の滝着、10:35 岡城着、11:40 普光寺着

12:30 頃会場へ

13:20～14:00 顕微鏡によるマダニ同定

実体顕微鏡、透過型顕微鏡を準備しております。透過型顕微鏡は、そばに置いているペンライトで観察してください。マダニもいくつか準備しています、ご自由にご覧ください。

写真を持って帰る方はUSBに取り込むこともできます。この間近くの裏山でもダニ採り可。

14:00～14:24 マダニ構造 1

- 10) 生きてるマダニを SEM で見たら・・・

及川陽三郎（金沢医科大学医動物学）

- 11) 8 本足について

和田康夫（赤穂市民病院皮膚科）

14:25～15:15 SFTS・ボレリア他

- 12) 当院における SFTS 診療の状況、特にファビピラビルの効果について

坂部茂俊（伊勢赤十字病院 循環器内科）

- 13) 大阪の SFTS 症例に関連するマダニと卵からの SFTSV・リケッチア同時検出

青山幾子（大阪健康安全基盤研究所）

- 14) NGS 解析で判明したマダニと SFTSV の関係

成田 翼（宮崎県衛生環境研究所）

- 15) ボレリア感染症に関する国際共同研究成果報告

川端寛樹（国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所）

15:20～16:00 マダニ刺症

歓迎講演 2

- 16) 大分県の 15 年間のマダニ刺症 1450 例の総括

安西三郎（安西皮膚科）

- 17) 兵庫県におけるダニ刺症の関する環境、季節要因：地域のダニ媒介性感染症リスクへの示唆

(Environmental and Seasonal Drivers of Tick Bites in Hyogo Prefecture, Japan: Implications for Regional Tick-Borne Disease Risk)

Paula Andrea Jiménez (Laboratory of Parasitology, Department of Disease Control, Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University)

- 18) 栃木県足利赤十字病院におけるタカサゴキララマダニ刺症～初症例から 10 年間の変遷

島田瑞穂（自治医科大学/足利赤十字病院）

16:05～16:17 ワクモ

- 19) 特定波長 LED による養鶏場ワクモの行動制御

荻野和正（(株) 三共消毒/産業医大）

16:25～17:00 特別企画 「須藤恒久先生のご逝去を悼む」 座長 安西、小河

【追悼演題 1】 須藤恒久先生のご業績

IP や疫学調査など学問的に、そしてお弟子さんの思い 高田伸弘（福井大学）

【追悼演題 2】 須藤恒久先生を偲ぶ

SADI 第 1 回から 30 回記念大会、そして内外学会の思い出 馬原文彦（馬原医院）

6月15日 9:00～11:10

9:00～9:30 マダニ構造 2

『解剖学者が見るマダニの世界』

20) マダニ口器・唾液腺の VHD Digital-MS 及び走査型電子顕微鏡 (SEM) 学的観察

三浦真弘 (大分大学 医 解剖学)

9:30～10:10 マダニ疫学等 1

21) 近頃のダニ調査で見える地理病理の攪乱

高田伸弘 (福井大 医)

22) 日本におけるキララマダニ (*Amblyomma*) 属の多様性と種同定

(Diversity and identification of the *Amblyomma* ticks of Japan)

Mackenzie L. Kwak (Laboratory of Parasitology, Department of Disease Control,
Faculty of Veterinary Medicine, Hokkaido University)

23) フタトゲチマダニの分布は広がったのか

土井寛大 (森林総合研究所)

10:20～11:00 マダニ疫学等 2

24) マダニ疫学システムの開発について

平良雅克 (国立健康危機管理研究機構・国立感染症研究所)

25) マダニとネズミの関係は？東北地方山形県の都市と森林での調査について

小峰浩隆 (山形大学 農学部)

26) 宮崎県のダニ媒介感染症の地理特性について

成田 翼 (宮崎県衛生環境研究所)

11:00 クロージングセッション／SADI 実行委員からの連絡